

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

2011年10月25日作成 整理番号 DOX151FT-002

製品データ情報

バルクディオキシダイザー Dox151FT

(浸漬およびスプレー適用)

A. 特長

バルクディオキシダイザーDox151FTは、一液タイプの非クロム系酸洗剤（スマット除去・脱酸素剤）です。Dox151FTには、アルミおよびアルミ合金素材上の不純物除去のため、若干のエッチング効果があります。

B. 使用方法概要

1) 建浴方法

品 目	容 量	建浴時の注意事項
水	940L	加熱不可
Dox151FT	60L	攪拌しながらゆっくりと加える

2) コントロールポイント（標準の作業状態）

遊離酸度滴定：	4.5ml
温 度：	15～40℃
スプレー時間：	1～10分
浸 漬 時間：	1～10分

注意： 滴定の詳細はEの項を参照。Dox151FTの運用に関する推奨事項はFの項を参照。

C. 処理工程

- No.1工程 — 脱脂（D参照）
- No.2工程 — 水洗（D参照）
- No.3工程 — Dox151FT
- No.4工程 — 水洗（G参照）
- No.5工程 — 後処理（G参照）

D. 下地処理

ほとんどの対象物は適正なバルククリーナーで脱脂可能です。もしも対象物の汚れが酷く更に強い洗浄が必要な場合は、バルクソル（洗浄添加剤）をバルククリーナーに添加します。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

脱脂後には水洗が必要です。持ち込みによる水洗水の純度低下を押さえる為に、水洗槽は常時オーバーフローさせます。

注意) 当社スタッフが適したタイプの脱脂剤をライン特性にあわせて選定いたします。

E. 処理槽のメンテナンス

Dox151FT は、遊離酸度測定値を処理槽管理の目安にします。滴定には当社製品の滴定セット 151FT またはそれと同等品をご使用ください。滴定は頻繁に、できればシフト毎に行って下さい。

1. 遊離酸度滴定方法

- 1) ピペットで浴サンプル 10ml を 250ml 三角フラスコに採り、蒸留水を加えて 100ml にし、攪拌します。
- 2) 指示薬 No. 10 (ブロム・フェノール・ブルー) を 4~6 滴加えて攪拌します。
- 3) 滴定液 No. 19 (1.0N 水酸化ナトリウム) をビューレットの目盛り 0 位置まで満たします
- 4) フラスコを緩やかに攪拌しながら、10 秒間青色を保持するようにまで、滴定液 No. 19 をゆっくり滴下します。
- 5) 滴定液 No. 19 の滴下量が滴定ポイント (遊離酸度) です。
- 6) $\text{滴定ポイント} \times 1.33 = \% \text{ Dox151FT}$

2. 補給方法

滴定ポイントの換算により得られた処理液濃度を 1%上昇させるためには、処理浴 100 リットルにつき Dox151FT を 1 リットル補給します。

F. 運用上の注意

1. 運用中には次の事項について注意して下さい。
 - a) Dox151FT の槽には適度の換気装置を取り付けて下さい。
 - b) Dox151FT の蒸気を吸い込まないように防護マスクを着用して下さい。
 - c) 適当な防護服を着用し、皮膚に付いた場合は直ちに十分な水で洗い流して下さい。
2. エッチングの度合いは浸漬時間に比例します。30 秒で僅かにエッチングが得られ、より深く均一なエッチングは 1~2 分で得られます。部分溶接の前処理としての推奨浸漬時間は、ほとんどの合金で 3~5 分です。
3. ここに説明している建浴方法および補給方法は、ほとんどの設備に対応する標準的なものです。個々のラインに合った条件は当社技術スタッフが提示致します。

BULK CHEMICALS

株式会社バルクケミカルズ・ジャパン

G. 後処理

Dox151FT で処理した後は、水または温水で十分に洗浄して下さい。溶接を施す場合は乾燥させて下さい。

H. 装置の注意

Dox151FT を適用する槽は、SUS300 シリーズのステンレス（316 等）、または、ポリエチレンまたは同等の耐酸素材のライニングが施してある必要があります。